

Step to the Future ~未来への一歩

実力テストをふり返って……



14日(水)から実力テストの答案が返却されています。3年生担当の先生たちの間では「さすがは最高学年だね」や「受験・受検に向けて自覚が出てきましたね」など、前向きな人が増えてきたという会話をしています。

意欲的な人が増えたことは素晴らしいことですが、テストの得点だけを気にかけて一喜一憂している人はいないでしょうか？テストの後でいつも思うことですが、大事なことは「結果を分析して今後どう活かすか」ということです。

数学のテストを返した後で、テストのふり返りをしました。
「テストに向けて努力したこと、良かったところ・反省すべきところ、今後の決意など」、しっかり考えて書いてくれた人が多く、とても嬉しく思いました。いくつか紹介しますので参考にしてください。

☆ 良かったところ

- 連立方程式の応用が解けた。
- 規則性の問題が正解していて嬉しかった。
- 確率の問題を家で何回もやり直した成果が出た。
- 証明を一つ一つ解いていったら、合っていたので嬉しかった。
- 問題を「解いた数」は「力になる」と思った。

★ 反省すべきところ

- 解答用紙に答を書き忘れていたので、見直しをしっかりとしたい。
- 配点が高く(1問4点)、得点が低くなってしまった。
- 時間配分に苦戦し、最後まで解くことができなかった。
- 「自分では勉強したつもりでも、全然できていない」ことに気づいた。
- 「やっぱり頑張らないと良い結果は出ないんだ」と思った。

※ 3年生で努力することや決意など

- 1,2年の教科書を見て復習をしていきたい。
- 証明と座標の問題が苦手だとわかったので、解けるようにする。
- 予習や復習に加えて、読解力も身につける。
- 問題を見てすぐにあきらめてしまうところを直していきたい。
- 問題をじっくり考えるために「速読」を身につける。

テスト勉強が現れた!!



期末テストは6月16日(水)~18日(金)です。

さて、あなたの選択肢は？

▶にげる ▶かえる
▶ねむる ▶うやむや

奨学金制度について

先日の学年集会で多くの先生が話したように、中学3年生は義務教育(中等教育前期)の最終年にあたります。卒業後は多くの人が高等学校(中等教育後期)に進学することになると思いますが、中学校と高校ではどのような違いがあるのでしょうか？



例えば、原級留置(いわゆる留年)は義務教育では基本的にありませんが、高校では「出席日数の不足や学業成績の不振」によって同じ学年をもう一度繰り返さねばならないことがあります。また、経済的な面では義務教育は無償(授業料・教科書代は不要)ですが、高校では授業料を払わなければなりませんし、教科書も自費で購入しなければなりません。しかしながら最近では政府の政策で「高校無償化」が進み、授業料を国や県が負担するようになってきています。

このように多くの生徒がより高度な教育を受けることができるようにいろいろな制度がある中のひとつに「奨学金制度」があります。奨学金には国や県・市などの公共の団体が扱っているものや、一般の団体のものなどいくつかの種類があります。希望する人全員が対象になるものもあれば、ある一定の条件を満たした人だけが対象になるものもあります。また、返還の必要がないもの(給付型)や卒業後に返還の必要なもの(貸与型)など様々です。

奨学金の案内が届き次第、進路通信やパンフレット・ポスター等で連絡をしていきます。希望する人や説明を聞きたい人・資料が欲しい人は進路担当まで申し出てください。また、4月28日(水)の進路説明会でも奨学金について、簡単な説明を行う予定です。

現時点では次の2つの奨学金の案内が届いています。

あしなが育英会

- ※ 病気・災害・自死などで保護者が死亡、または障がい(1~5級)を負っている家庭の子ども
- ※ 「無利子貸与+給付」型
国公立 月額 貸与 2万5千円+給付 2万円
私立 貸与 3万円 +給付 2万円型
- ※ 成績は問いません

交通遺児育英会

- ※ 保護者が交通事故で死亡・重度後遺傷害となった家庭の子ども
- ※ 貸与型(無利息)
- ※ 月額 2万円~4万円
- ※ 入学一時金 20万円~60万円